

いわて東北メディカル・メガバンク機構 研究計画書（概要）

|        |   |    |             |                     |           |
|--------|---|----|-------------|---------------------|-----------|
| 研究題目   | 東日本大震災被災地域住民の被災と尿中Na/K比との関連に関する検討   |    | 研究期間        | 2020.1.27～2022.3.31 |           |
| 実施責任者  | 丹野 高三   | 所属 | 臨床研究・疫学研究部門 |                     | 職位<br>部門長 |
| 研究目的   | TMM地域住民コホート調査のベースラインデータを用いて、東日本大震災被災地域住民の家屋被害等の被災状況や被災に伴う生活環境・家族構成等の変化と尿中Na/K比との関連を明らかにすること   |    |             |                     |           |
| 研究計画概要 | <p>尿中Na/K比はNa摂取量、K摂取量を反映し、高血圧、循環器疾患の発症と関連することが報告されている。一方、大規模自然災害後、急性期だけでなく長期にわたって循環器疾患の発症や死亡が増加することが報告されており、栄養バランスの悪化が原因の一つとして考えられている。しかし、大規模自然災害後の被災住民のNa摂取量、K摂取量に注目した研究はない。</p> <p>本研究では、岩手・宮城におけるTMM地域住民コホート調査のうち健診参加型調査参加者約67,000人を対象として、ベースライン調査で収集された自記式アンケートによる家屋被害の程度や被災によって変化した生活環境や家族構成等に着目し、それらと尿中Na/K比との関連について検討する。具体的には自記式アンケートの回答に基づき、対象者を家屋被災状況、生活環境や家族構成等で分類し、調査時に採取された随時尿中のNa/K比との関連性を共分散分析やロジスティック回帰分析を用いて検討する。</p> |    |             |                     |           |